防 衛 省 仕 様 書 改 正 票

ＤＳＰ
Ｄ 6019F(2)

制定 昭和５７．３．３０
改正 平成２５．８．２７

3½t水タンク車(5000L)

（TRUCK, TANK）

この改正票は，ＤＳＰ　Ｄ　６０１９Ｆ[3½t水タンク車(5000L)]についてのものであり，ＤＳＰ　Ｄ　６０１９Ｆ(1)を含め，累積記載されている。この改正票は，ＤＳＰ　Ｄ　６０１９Ｆと併用される。

1.3　**表１**　を次のように改める。

表１－製品の呼び方

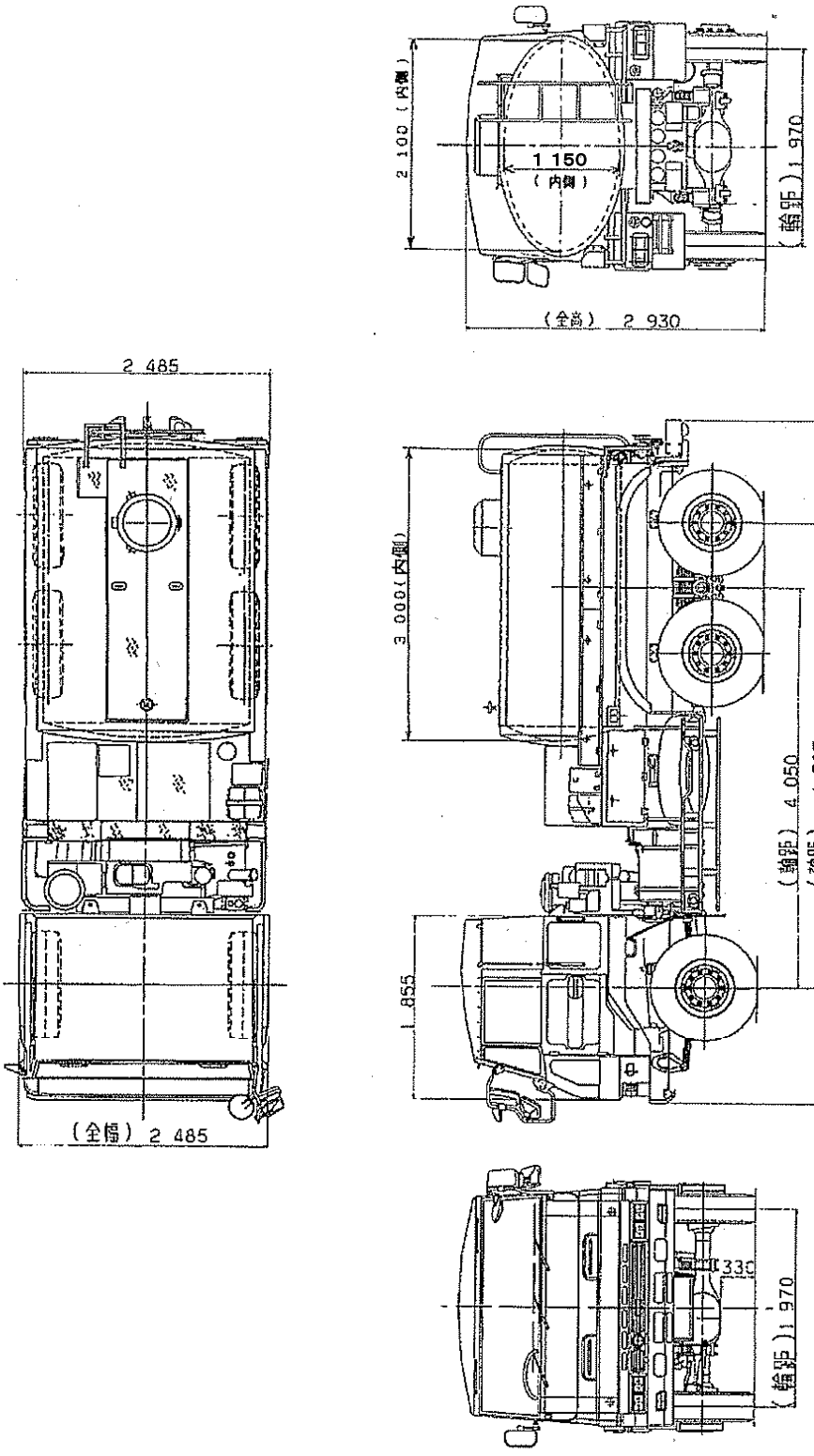
製品の呼び方	物品番号
3½t水タンク車（５０００Ｌ）	2320－283－6685－5

付図１　を次のように改める。

2.

D　6019F（2）

単位 mm



図番	付図１	名称	３½t水タンク車（５０００Ｌ）	尺度	——
防　　衛　　省					

防 衛 省 仕 様 書

3$\frac{1}{2}$t水タンク車（5000L）

ＤＳＰ
Ｄ　6019Ｆ

制定　昭和57．3．30

改正　平成23．8．8

（TRUCK，TANK）

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，飲料水などの輸送及び給水に使用するキャブオーバー形総輪駆動の3$\frac{1}{2}$t水タンク車（5000L）（以下，トラックという。）について規定する。

1.2　用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は，次によるほか，ＪＩＳ　Ｄ　０１０１及びＪＩＳ　Ｄ　０１０２による。

1.2.1

空車状態

空車状態とは，トラックに燃料，潤滑油，冷却水などを全量搭載し，携行工具，附属品及び予備部品を取付位置などに収納した状態をいう。ただし，タイヤチェーン及び燃料携行缶は，含まないものとする。

1.2.2

最大積載状態

最大積載状態とは，空車状態のトラックに操縦手1名（80　kg），助手1名（80　kg）及び5　000　Lの水を満載した状態をいう。

1.3　製品の呼び方

製品の呼び方は，**表１**による。

表１－製品の呼び方

製品の呼び方	物品番号
3$\frac{1}{2}$t水タンク車（5000L）	――――――――

1.4　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a)　**規格**

ＪＩＳ　Ｂ　７５０５－１　アネロイド型圧力計－第1部:ブルドン管圧力計
ＪＩＳ　Ｂ　９９１２　消防用ねじ式結合金具の結合部の種類及び寸法
ＪＩＳ　Ｄ　０１０１　自動車の種類に関する用語
ＪＩＳ　Ｄ　０１０２　自動車用語－自動車の寸法，質量，荷重及び性能
ＪＩＳ　Ｇ　３４５９　配管用ステンレス鋼管
ＪＩＳ　Ｋ　６３３８　吸排水用ゴムホース(ウォーターサクションディスチャージホース)

b)　**仕様書**

ＤＳＰ　Ｄ　０００３　3$\frac{1}{2}$tトラック
ＤＳＰ　Ｚ　１００５　燃料携行缶

c)　**法令等**

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第1号）

2　製品に関する要求

2

D 6019F

2.1 一般的要求事項

このトラックは，自衛隊の使用する自動車に関する訓令（以下，訓令という。）に適合するものとする。

2.2 部品・付加材等・工具類の互換性

官側で保有する部品，付加材等及び工具類の使用に，極力互換性があるものとする。

2.3 構成

構成は，次による。

a) 機関

b) 動力伝達装置及び走行装置

c) ブレーキ装置

d) 懸架装置

e) かじ取り装置

f) フレーム

g) 操縦室

h) 動力取出装置

i) タンク及びタンク関連装置

j) ポンプ

k) 配管

l) 灯火類

m) 附属装置など

2.4 ねじ部品類

ねじ部品類は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

2.5 構造・形状・寸法・質量

2.5.1 構造

構造は，次による。

a) 機関，動力伝達装置，走行装置，ブレーキ装置，懸架装置，かじ取り装置，フレーム，操縦室，灯火類，附属装置などは，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。ただし，次の事項は，この仕様書の規定による。

1) 懸架装置の後部は，トラニオンボギー式の車軸式懸架とし，トルクロッドを用いるものとする。

2) ピントルフック及びブレーキ用エアジョイントは，トラックの後端に取り付けるものとし，1tトレーラ及び1t水タンクトレーラのけん（牽）引ができる構造とする。また，フレーム前部にけん（牽）引回収などに使用できるフックを2個設けるものとする。

3) 燃料携行缶[1)]2個を収納できる取付具を，配管室左側上部に取り付けるものとする。

注[1)]　ＤＳＰ　Ｚ　１００５の 燃料携行缶

4) 調達要領指定書によって指定する場合を除き，電源供給用ソケットを，配管室内側の右側前方の適宜の位置に取り付けられる構造とする。

5) 調達要領指定書によって指定する場合を除き，巻込防止装置の左右昇降用ステップ部に，しま鋼板を使用した滑り止め処置を施すものとする。

b) 動力取出装置は，ポンプ駆動の動力を変速機側面から取り出す方式で，コンスタントメッシュ式とする。

c) タンク及びタンク関連装置は，次による。

1) タンク本体は，容量5 000 Lのだ（惰）円形とし，継ぎ目箇所をできるだけ上部におくよう溶接によって製作するものとする。

2) タンク内部に防波板を設けるものとする。

3) タンク本体は，サブフレームに溶接のうえ，シャシフレームに緩衝物を介して，ボルト，ナット及びブラケットによって取り付けるものとする。

4) タンク本体の外側には，約50 ㎜の厚さのグラスウールをはり，その外側を1．2 ㎜～1．6 ㎜の厚さの鋼板で覆い，保温を図れる構造とする。

なお，タンク本体下部の加熱室と接する部位については，加熱室外側にグラスウールをはるものとする。

5) タンク本体外面及びグラスウールを覆う鋼板の内面は，十分な防せい(錆)処理を施すものとする。

6) タンク上部には，マンホールを1個設け，マンホールと蓋は，カバーで覆うものとする。

7) マンホールは，内径430 ㎜のもので，蓋は厚さ約25 ㎜のグラスウールを中間に充てん(填)した鋼板とし，パッキンを挿入のうえ，ヒンジビームで締めつけることによって，完全に気密が保てる構造とする。また，蓋には，空気安全弁を設けるものとする。

8) タンク上部中央には，全長にわたり幅約800 ㎜のしま(縞)鋼板製作業甲板を設けるものとする。

9) タンク下部には底弁を，上部には底弁ハンドルを，各1個設けるものとする。

10) タンク本体内面は，グリッドブラスト又はサンドブラストした後，白色エポキシ樹脂系の塗料を4回塗装する。塗膜の厚さは，0．2 ㎜～0．5 ㎜とする。

11) タンクの両側面に，ホース収納箱(鍵付き)を設けるものとする。

12) タンク前方に，鋼板製の配管室を設けるものとする。配管室上面は，しま(縞)鋼板製とし，左右両側には給排水口及び操作弁用の扉を設けるものとする。

13) 配管室上部に，工具及び小口給水装置の収納箱(鍵付き)を取り付けるものとする。

14) タンク後部右側に，はしごを設けるものとする。

なお，調達要領指定書によって指定する場合を除き，はしごのステップ部に，しま鋼板を使用した滑り止め処置を施すものとする。

15) タンク下部に水の凍結防止を図るため，排気を利用した加熱室を設けるものとし，加熱室の内面は，十分な防食及び防せい(錆)処理を施すものとする。

なお，加熱室入口の排気管分岐部には，外部から操作できる切換弁を取り付けるものとする。

d) ポンプは，次による。

1) 形式　　タービンポンプ

2) 定格吐出量　約2 800 min^{-1}で500 L／min以上

3) 口径　　約70 ㎜

4) 動力は，動力取出装置，駆動軸，チェーン及びスプロケットを介して，取り入れるものとする。

e) 配管は，次による。

1) 配管は，飲料水に適した鋼管，又はステンレス鋼管[2)]によるものとする。

注[2)] ＪＩＳ Ｇ ３４５９の50 Ａ

2) 配管の途中に圧力計及び連成計[3)]を取り付けるものとする。

注[3)] ＪＩＳ Ｂ ７５０５－１のブルドン管圧力計

3) 水の動力吸入，動力吐出及び重力吐出ができるよう切換用の四方コックを，配管途中に取り付けるものとする。

4) 給水口は，配管室両側に各1個所設け，着脱が容易で，同時に4個以上の小口給水が可能な装置を取り付けられるものとする。

2.5.2 形状・寸法

形状及び寸法は，**付図１**を標準とする。

2.5.3 質量

質量は，**表２**を標準とする。

表２－質量　　**単位** kg

区分		規定
空車質量		9 490
空車状態の配分質量	前	4 560
	後	4 930
最大積載状態の質量		14 650

2.6 外観・性能・機能

2.6.1 外観

外観は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

2.6.2 性能・機能

性能及び機能は，**表３**によるほか，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。ただし，ＤＳＰ　Ｄ　０００３の**付表１**中，“標準積載状態”とあるのを“最大積載状態”に，読み替えるものとする。

表３－性能・機能

項目		規定
最大安定傾斜角		右側及び左側に35度未満の傾きで転覆してはならない。
走 行 性 能	最小回転(旋回)半径	9．4 m以下とする。
ぎ 装 性 能	吸入	**表４**の試験方法によって試験したとき，500±50 L／minとする。
	吐出	
	継続運転	**表４**の試験方法によって試験したとき，異常があってはならない。

2.7 塗装

塗装は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

なお，タンク外面及び配管は，車体外部と同様とする。

2.8 製品の表示

製品の表示は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

2.9 標識

標識は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

3 品質保証

3.1 検査

検査は，**表４**によるほか，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。ただし，ＤＳＰ　Ｄ　０００３の**付表１**中，“荷台”とあるのを“タンク”に，“標準積載状態”とあるのを“最大積載状態”に，それぞれ読み替えるものとする。

3.2 保証範囲

官側において，2.2の付加材等を取り付けて運用したことに起因する不具合については，品質保証の範囲外とする。

表４－３$\frac{1}{2}$ｔ水タンク車（５０００Ｌ）の検査項目，試験方法及び判定基準

検査項目		試験方法	判定基準
ぎ装性能	吸入	ポンプを2 800 min^{-1}で運転し，外部水槽からタンクへ吸水し，吸入量を調べる。	2.6.2による。
	吐出	ポンプを2 800 min^{-1}で運転し，タンク内の水を吐出し，吐出量を調べる	
	継続運転試験	ポンプを2 800 min^{-1}で継続30分以上運転し，もれ，異音及び過熱を調べる。	

4 出荷条件

出荷条件は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３による。

5 その他の指示

5.1 補給・整備性の向上

契約の相手方は，納入後のかしを含む不具合に対応するため，納地に対しての体制を確保できるものとする。

5.2 携行工具・予備部品

携行工具及び予備部品は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３によるほか，予備部品として，ホース接手用パッキング10個を加えるものとする。

5.3 附属品

附属品は，ＤＳＰ　Ｄ　０００３（ただし，安全バンドを除く。）によるほか，表５による。

表５－附属品

名称	数量	規定
サクションホース	2	内径50 ㎜，長さ3 m，両端カップリング付きとし，ホース本体の品質は，ＪＩＳ　Ｋ　６３３８の規格と同等以上とする。 また，カップリングは，青銅製又は亜鉛合金製とし，ＪＩＳ　Ｂ　９９１２による。
デリバリホース	1	内径50 ㎜，長さ9 m，帆布製で青銅製カップリング付きとし，カップリングは，ＪＩＳ　Ｂ　９９１２による。
小口給水装置	2	―――
スパナ	2	ホース接手用
スパナ	1	小口給水装置用
ハンドル	1	排気管分岐部切替弁操作用

5.4 承認用図面

契約の相手方は，製造に先立ち承認用図面を提出し，契約担当官等の承認を受けなければならない。

なお，提出部数は3部とする。

5.5 申請書類

契約の相手方は，訓令に基づく適用除外の申請のため，次の書類各4部を契約後速やかに契約担当官等を経由の上，調達要求元に提出するものとする。ただし，契約担当官等が認めた場合は，一部又は全部を省略することができる。

a) 主要諸元表

b) 外観三面図又は外観四面図

c) 原動機性能曲線図

d) 走行性能曲線図

e) 主要部強度計算書

5.6 納入書類

5.6.1 添付書類

添付書類は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，トラック1両ごとに，取扱説明書1部とする。

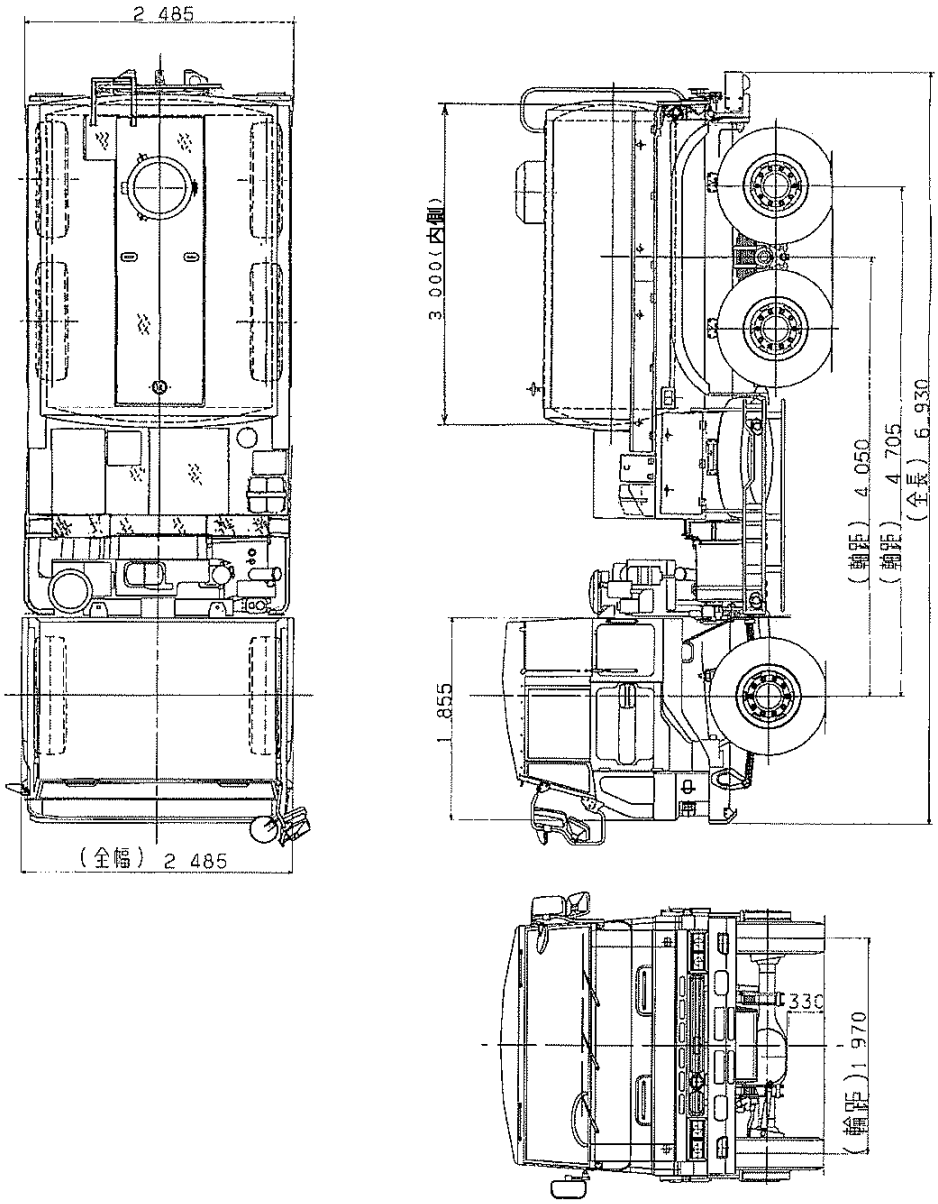
5.6.2 提出書類

提出書類は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表６**による。

表６－提出書類

名称	時期	数量	提出先	注記
取扱説明書	納入時	1	調達要求元	――――――――――――――
部品表		1		――――――――――――――
完成品写真		1組		キャビネ版四面（前後左右）

単位 mm



図番	付図１	名称	３$\frac{1}{2}$t水タンク車（５０００Ｌ）	尺度	——
防　　衛　　省					